

「ええとこ残そう 未来の亀山へ」

第6回市民交流会の記録



2006年2月26日(日)
午前10時00分～午後3時
関小学校で開催されました



話し合いのテーマ

- 残そう伝統文化
- 子どもと共に何ができるか
- いきいき地域づくり
- 外国人と共に暮らす
- ふるさとの味、我が家の味

市民交流会ってなに？

毎年開催される市民交流会、個人でも団体でも誰でも自由に参加できる市民交流の場です。今年は関で初めて開催されました。そこではより住みよい、生き生きしたまちをつくるためさまざまな話し合いがありました。今回参加できなかった皆さんもぜひ次回は来てみませんか。これはそのダイジェスト版です。

会場展示の団体・グループ名	
エコ・ソアーベ	茶々の会
宿場の賑わい復活一座	すずしろ会
峰彩会第2班	亀山市レクリエーション協会
竹遊会	亀山国際交流の会
亀山こども劇場	新日本婦人の会
NPO法人森のピーターパン	踊り・祭りを考える会
さわやか体操	亀山自然環境を愛する会
市橋隆雄さんを支える会	ぽっかぽかの会
いどばたクラブ(男女共同参画)	子育て支援「かめのこ」
亀山市ボランティア連絡協議会	坂本棚田保存会
地域の活性化を考える会	亀山市食生活改善推進協議会
かぼちゃの会	亀山元気の会
	池山かんこ踊り保存会



きらめき亀山21

きらめき亀山21は、亀山の市民活動ネットワークです。

毎月21日には、誰もが対等にまちづくりのための意見を言い合い、行動していく場として亀山市役所で「市民交流の日」を設けております。申し込み不要、個人でも自由に参加でき、人々が出会い、アイデアを実現していくための場です。年に一度の市民交流会を祭りに終わらせること無く意見を行動に移し実現していく場でもあります。

休祭日関係なく毎月21日

市役所3階の大会議室夜19:30～21:00です。



第6回市民交流会テーマ別話し合いダイジェスト

関中学校の人権ヒューマンライズ

ヒューマンライズ 3年前から活動しています。関中学校では人権フォーラムがありいろいろ話し合ってきました。

差別のこと いじめのことを勉強してきました。ビデオを見ながらいじめについて考えてもらいたいです。圧力をかけられたらどうするか、いじめがあったら傍観者でいるか、やめさせることができるか話し合ってきました。

残そう伝統文化

有形財産、無形財産があります。有形財産としてはその土地などで作り方が違う。野登山に花いっぱい回廊、もみじと桜との回廊ができるよう植えていきたい。

関のところに山城がありますがそれを発掘していきたい。町並み保存などを継続したい。

無形財産では雨乞いなどで後継者がいない。若い人がいないなど 池山地区では小学校で教えに行き引継ぎができないだろうか 昔はその地区踊りを教えて年寄りから子どもまで地域全体で教えていた。春祭り夏祭りなど全体で行っている。踊りをとらして国際交流ができないだろうか。外国の方から踊りを教えてもらって私たちが踊りを教える。ヤマトタケルノミコトの歴史の歌「雪月花」とか錫杖が岳で尺八の発表をやるなど伝統芸能を残していきたい。

子どもと共に何ができるか

地域に戻ったものが地域と学校に関わってきた。親がつながることで子どもとつながってくる。子どもの集える場所など考えていかなければいけない。子どもの活動の理解と認識、今の中学生が何を考えているか。小学年は挨拶もできなかったが中学校で地域のおばさんがわかるようになって抵抗がなくなり挨拶もできるようになった。地域といっしょになったイベントを考えていく。週5日制になって子どもたちがいろいろな活動ができるように。子どもだけを育てるだけでなく親も育てる。さりげない後押しを思春期とか自分が持っているパワーを認めてあげて一緒にしていくように。子供の居場所だけでなく大人が手をつなげていく横のつながりを大事にしていく

いきいき地域づくり

現在の地域に対する取り組み方、問題点、未来の亀山に何が必要だろうか。

棚田の保存会があり、すばらしい。歴史ある亀山を残そうということで屋号を残そう。近所の人と挨拶をしようということでこちらから挨拶をして打ち解けていったらどうだろう。「あいあい」の2階で高齢者と関わっている。「あいあい」までどうして来ていただけるかが一番のネックです。東海大地震を行政といっしょに調べてほしい。行政とのパイプが流れていないようだ。地域の隠れた人材をいかに参加させるか。たとえば町の方を駿農場するとか・・・子どもたちを呼んでみたらどうだろうか。いろいろなイベントがあるが足が無いので行政にお願いして足をお願いしてほしい。

外国人と共に暮らす社会

外国人と一口に言っても働きにきている人 日本に学びに来ている人いろいろ。まず挨拶をしよう。毎日つづけると必ずかえてくる。挨拶運動はなかなか定着しないけどハローやハウアールーに相当する新語「にーほん」を地域から発信したら面白そう。企業が最大の問題。派遣を大手が採用。外国人は道具扱い。行動のきっかけを作ろう。異民族である以前に人間として付き合いたい。

ふるさとの味我が家の味

家庭でおふくろの味・・・お正月に煮干の味 味噌汁・・・味噌からおかあさんが作ってくれた。地域の味がその地域の文化となっている。味は文化。

話し合いで出てきたいろんな味を頭に入れ、自分の埋もれた思い出の味をつくってみて、子どもたちに伝えていければ。潤いのある次世代をそだてることになるのでは。

詳細な記録版があります。市役所市民コーナーにあります。
ネット上でも見れます。
<http://www.nekoyakata.mydns.jp/koryukai/>
「きらめき亀山21」ホームページからもリンクがあります。

第6回市民交流会参加者のコメント（アンケートより）

関中学の発表について

よくやった、うまい よくできていました 寒かった 大変よかった演技も上手で感心した
とてもよかった 自分たちで考えて行動しているのが素晴らしい
いじめの参考になった 自分たちで演技しビデオをつくり深いいじめを考える活動は素晴らしい
わかりやすかった いじめは現実にあること。学校では把握していないのが現実
よかった 努力しているのがわかった 上手にできていた
大変よかった。虐待、いじめ、思春期の行動がわかった。地域学校が一丸となって取り組む問題
演技が上手だった 大変よかった わかりやすかった。これからもがんばってください
感動した ビデオがわかりやすかった 熱心に考え行動していることに感心した
よかった 非常に貴重な発表。パワーを感じた。同世代へ大人へ伝えていただきたい
タレント顔負け。好感が持てた。 素晴らしい。わかりやすい よくまとまっていた
みんな平等、差別をなくそう 悪者が改心するきっかけをもう少し強調したらよかった
ビデオがよかった 大変立派でした 上手にできていた よかった
多くの人の理解が得られたと思う 子どもたちのパワーに驚いた
解決の場面に少々深みが？ 豊かの深刻な気持ちがいまいち 努力が見えた
他人の優れたところを評価せず、いじめの対象にする、日本の悪風である。そこが問題

話し合いでの感想

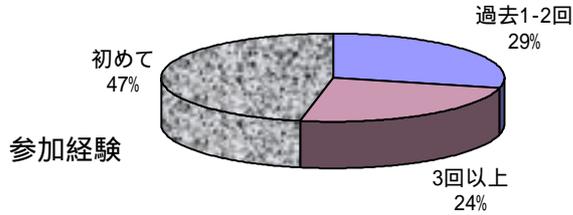
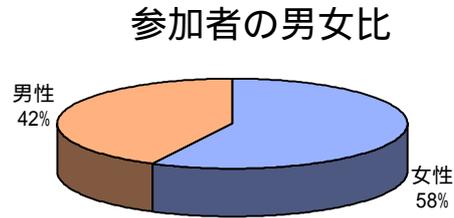
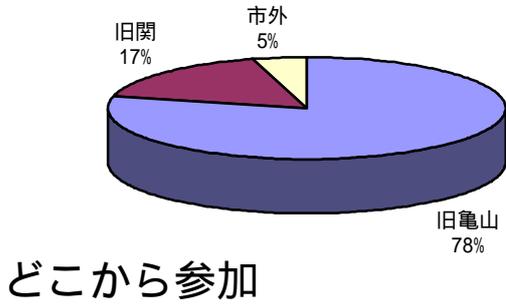
なかなか活発な意見が出た 時間が足りないほど話がはずみ良かった
テーマが広がってしまい目的がわからなくなった 様々の意見を聞くことができとてもよかった
いろんな話が聞けて楽しかった 年上の人たちの食べ方などを聞き勉強になった
人間として付き合うことが基本に賛成。高齢ほど外国人に閉鎖的だが少しずつ変わっていく。
ふれあうことから始めるのが大切。 時間が少なかった 少子化が一番の難問
ファシリがうまく意見交換がはずんだ 本心が出ていた リーダーは事前に話題を絞るといい
同じ悩みの話ができてとてもよかった 交流ができた 意見がたくさん出てよかった
よかった 時間が短かった。じっくり話し合いたい とても活発でいい刺激になった
ふるさとの味を実践するグループを作るといい
外国人と人間として付き合いいきましょう また機会を改め継続して欲しい
人間として付き合うことが基本に賛成。高齢ほど外国人に閉鎖的だが少しずつ変わっていく。
ふれあうことから始めるのが大切。
いろんな話が聞けてよかった 地域の味が引き継がれて欲しい 懐かしいものが出てきて楽し
かった
苦しい話はなかってよかった 楽しく過ごせた 活発でよかった いろいろな話を聞き勉強に
なった
いろんな地域の集まりで初めて知ることがあった 積極的に話し合いができた
みんな平等に話し合えよかった いい勉強になった。ふるさとの味を伝えたい
人数がちょうどよかった。充分意見が言えた 懐かしい味の思い出 とても参考になった
よかった 意義深かった 司会がよかった。気軽に意見が出せた

その他感想

子どもとともに参加できる交流会こそ今回の分科会のテーマではなかったでしょうか
次回は人も含めた環境希望 参加してよかった スタッフの皆さんごくろうさん
リーダーの話が家庭的で楽しかった よかったが交流会が知られていないのでは
会場が地元だと参加者も多い。 陽気のよい時期にして欲しい スケジュールきつかった
気軽に参加できた。これからも参加したい 案内を工夫してもっと人を集めるように
隠れた人材見つけだそう。多くの参加を！ 関での開催なのに関の人が少なかった
ごくろうさまでした 自分の思いを出されすごいと思った。
少しでもよい生き方を思いが伝わってよかった。
子どもの参加が少ない……。 もっと各分野でPRして参加者が集まればいい
有意義な一日でした 関係者ごくろうさまでした

第6回市民交流会参加者の分析

総参加者 150名
アンケート回答数 66



予想以上に初めての人が多かった

若い世代を今後
どう巻き込むか課題です

